

平成28年度 施政方針（抜粋）

1年間の主要な事業や予算についての方向性を示す施政方針
今年度の串間市施政方針をお知らせします



豊かな自然とともに
生きる喜びにあふれる
協働と交流のまち 串間

地方公共団体が自主性・主体性を最大限に発揮して地方創生に取り組み、地域の実情に応じたきめ細かな施策を可能にする観点から、「まち・ひと・しごと創生事業費」が平成27年度に創設され、平成28年度においても引き続き1兆円が確保されました。

このような中において、本市の人口減少の克服と地域活性化に取り組みんでいくための指針「串間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、串間独自の施策展開、個性を明確にすることにより、「選ばれるまち」づくりを進め、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごと創生と好循環の確立を図るため、各施策に積極的に取り組んでいくこととしております。



●東九州自動車道 「日南～串間～志布志間」

本年1月に都市計画道路の決定が告示されたことに伴い、念願の事業化に向けた動きが加速しているものと感じているところであります。今後、官民一体となった要望活動を積極的に進めてまいります。また、東九州自動車道の開通を見据えた中心市街地活性化策として、事業を進めている「まちなかの道」の駅」につきましても、早期整備に向けた取り組みを進めてまいります。

●都井岬再興に向けた取り組み

懸案事項でありました、旧都井岬観光ホテルの跡地問題については、前所有者との交渉がまとまり、土地・建物を取得することができました。ホテルの解体撤去などを行うとともに、企業立地協定を締結した米良電機産業株式会社と連携し、都井岬の再興に向けた取り組みを力強く進めてまいります。

●福島高校存続に向けた支援策

宮崎県立福島高等学校と、新設する串間市立串間中学校との連携型中高一貫教育校につきましては、平成29年4月に設置することが決定しました。しかしながら、連携型中高一貫教育校の設置「イコール」福島高等学校の存続が約束された訳ではなく、常に危機感

を持つて取り組まなければならない課題であることから、串間中学校の活性化および福島高等学校の存続に向けた、魅力ある支援策を積極的に展開してまいります。

●地域おこし協力隊の活用

総務省が取り組みを進めております「地域おこし協力隊」を新たに平成28年度より活用し、農産物や地場産品の販路拡大と新商品開発、外国人観光客への情報発信と受入対策、エコツーリズムの具体的な実施、移住相談や空き家バンクへの登録などの推進を図るとともに、「集落支援員」を配置し、集落の現状を把握したうえで、新しい地域コミュニティの仕組みづくりを支援してまいります。

●再生可能エネルギーの推進

九州最大規模の風力発電施設と農業用水路を活用した小水力発電施設の計画が着工に向け順調に進んでおり、今後、本市の地域振興に大きく寄与するものと期待しているところであります。

●地方創生の取り組み

政府は、総合戦略策定の段階から、平成28年度より、具体的な事業を本格的に推進する段階と位置付け、地方創生の深化に取り組むこととしております。本市におきましても、政府の方針

も踏まえ、喫緊の課題である人口減少の克服と地域活性化に積極的に取り組んでまいります。

市政運営の 基本的な考え方

国・県の方針を踏まえながら、第5次串間市長期総合計画に定めるそれぞのの基本目標の実現を念頭に、引き続き個別施策を進めてまいります。中でも「串間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた基本目標「安定した雇用をつくる」「子育て世代を支える」「安全・安心な暮らしを守る」「人を呼び込む」、すなわち、「地域資源の活用と組み合わせによる魅力ある産業の育成と雇用の創出」「子育て世代の仕事と家庭の両立と、結婚から妊娠・出産、子育ての切れ目のない支援体制づくり」「住み続けたいと思える環境づくり」とまちの活性化」「多彩な魅力と自然豊かな景観を活用した交流人口の増加や移住等の促進」の実現のための施策に積極的に取り組み、人口減少の克服と地域活性化を目指すとともに、豊かな観光資源を有する「都井岬」の再興、「まちなかの道の駅」を核とした中心市街地の活性化、連携型中高一貫教育校の設置を契機とした学校教育の充実もしっかりと取り組んでまいります。

また、大筋合意に至ったT P P協定

については、国は「総合的なT P P関連政策大綱」を踏まえ、我が国の産業の海外展開・事業拡大や生産性向上、農林水産業の競争力の強化など、将来の成長、発展を視野に入れた取り組みを進めるとしていることから、国の動向にしっかりと対応してまいります。

予算編成方針

第5次串間市長期総合計画の実現に向けたそれぞれの基本目標を意識しつつ、行政評価による重点的・効率的な施策の展開を図りながら、全ての事務事業を徹底して見直し、限られた財源の効果的な配分に努め、的確な予算措置を行ったところであります。

その結果、一般会計の総額としましては、平成27年度当初予算と比較しまして、4・4%増の118億円となっております。

おわりに

国の政策や動向、地方創生の動きなどを踏まえ、今後も第5次串間市長期総合計画に定める基本目標を念頭に、中でも「串間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に盛り込んでおります各種施策を最優先に、市民の先頭に立って市政運営にあたっておりますので、市議会および市民の皆様のご理解とご協力添えを賜りますようお願い申し上げます。